

石川県志賀町で鉱山を経営し、能登半島に広がる砂岩層から貝化石肥料原料を露天掘りで採掘。主に土壌改良を目的とした炭カル肥料を製造、販売。

国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

貝化石（炭カル）を多く含む砂岩

種類：特殊肥料
名称：ノトユーキ

取組の経緯・内容・成果（見込み）

【取組の経緯】

- 能登半島は、貝類等の浅海底の生物の化石を多く含む砂岩層が広範囲に広がり、特に富山、石川両県の県境付近は国内有数の貝化石肥料原料の産地。
- (株)ノトユーキは、石川県志賀町下において貝化石鉱山を経営し、採掘から貝化石肥料の製造まで実施。

【取組の内容】

- 貝化石（炭カル）を多く含む砂岩層を露天掘りで採掘。アルカリ分の高い肥料を製造し、販売。

【成果】

- 国内で多く使われている石灰岩由来の、セメント原料にもなり得る石灰質肥料に比較して、連用しても土壌が固くならないメリットを有し、農地の酸度矯正等を目的とする資材として流通。
- 貝化石肥料等を使用する生産者団体「ノトユーキ三和会」を設立。事務局を務め、石川県の特別栽培農産物認証を取得。



社屋・工場

作物 ■ 成分・特徴等

農作物全般

成分： (単位：%)

フミン酸	石灰	珪酸	苦土	鉄
8~10	30~35	30~40	1.8~2	2~4

特徴：
貝化石を含む砂岩が原料

生産量

250 t
(令和6年)

主たる取組主体と肥料利用までの流れ

資源供給者・肥料製造者

販売業者

肥料利用者

株式会社ノトユーキ

商系業者

農業者

貝化石を含む砂岩層を採掘、粉砕し、肥料化

今後の課題・取組

- 貝化石肥料は、有機農業や特別栽培に適した肥料であり、一層の利用拡大に向けて、地域の有機農業者等のニーズを把握し、普及を図っていく。



特殊肥料
ノトユーキ